

九頭竜川・北川大規模氾濫減災協議会
及び 福井県管理河川 嶺北ブロック、嶺南ブロック減災対策協議会
(簡略版)

日 時：令和元年6月5日(水) 14:45～
場 所：(財)福井県教育センター4階大ホール

【出席者】
別紙参照

【議事概要】
各協議会の取組内容に関する実施状況と今後の取組について
各協議会の取組方針(変更案)について
令和元年度の取組内容について

【議事結果】
議事内容について委員に説明し、今後の取組について情報共有することができた。

【議事内容】
・資料1～7
別添資料の説明

・資料8 令和元年度の取組内容について
<敦賀市>

自主防災組織の活用・強化

- ・自主防災組織への直接的・間接的な補助
- ・各区に対し地域防災マップの作成呼びかけ
- ・職員によるマップ作成の指導や防災に関する助言
- ・笙の川河川改修に関して、長年の懸案であった来迎寺橋の架け替えが行われた。今後とも治水安全度向上のため、河川整備計画の推進を望む。

<小浜市>

水防団員や消防団員の募集の強化

- ・災害対応や予防広報に従事する機能別消防団員を募集

自主防災組織の活用・強化

- ・自主防災組織および各地区の自主防災活動への補助

水防訓練の実施による連絡体制の強化・確認

- ・水防訓練の実施

<大野市>

自主防災組織の活用・強化

- ・自主防災活動の中心的立場にある者の研修会を開催

水防訓練の実施による連絡体制の強化・確認

- ・水防訓練の実施

河川改修の推進

- ・赤根川、清滝川の河川改修を望む。

浚渫、伐木

- ・浚渫及び伐木、堆積土砂除去の定期的な取組みを望む。

<坂井市>

水防施設・河川パトロール

- ・出水期に向けた水防施設・水防資機材の確認と河川パトロール体制の確認

土のう作成訓練

- ・若手職員の土のう作成技術習得、水防工法の習得、土のう備蓄

<高浜町>

円滑かつ迅速な避難のための取組み

- ・子生川、関屋川ハザードマップを今年度中に作成・周知

的確な水防活動のための取組み

- ・水防訓練の実施

<おおい町>

水防訓練の実施による連絡体制の強化・確認

- ・防災訓練の実施
- ・住民参加による避難訓練、消防職員による土のう作成研修、改良積み土のう工法などの実施

浚渫、伐木

- ・佐分利川の浚渫及び河床整正の定期的な取組みの実施を望む。

<若狭町>

水防資機材の備蓄等の確認

- ・水防倉庫にある備品の確認

水防訓練による連絡体制の確認

- ・水防訓練の実施
- ・積み土のうや住宅浸水防止工法などの水防工法の取得
- ・タイムラインを利用した情報伝達訓練や河川の確認

水防団員や消防団員の募集の強化

- ・ポスター等で女性消防団員を募集

自主防災組織の活用・強化

- ・自主防災組織への防災資機材購入補助

<福井地方気象台>

防災に関する啓発活動、水害（防災）教育の拡充

- ・啓発イベントの実施
- ・『学校防災アドバイザー』の実施
- ・出前講座の実施

防災に関するその他の取組

- ・『気象防災講習会』

トピックとして

指定河川洪水予報等への警戒レベルの導入

- ・避難のタイミングを明確化
警戒レベル3：高齢者等避難 レベル4：全員避難

高解像度化に伴う土砂災害警戒判定メッシュ情報

- ・高解像度により、危険度が高まっている領域を絞り込み

<福井河川国道事務所>

河道掘削・堤防整備

- ・河道掘削や堤防整備の実施

危機管理型ハード対策

- ・決壊までの時間を引き延ばすよう堤防構造を工夫する対策を実施

早期避難勧告等の発令判断や水防活動を支援するため、簡易型河川監視カメラ設置と情報共有

- ・簡易型河川監視カメラの設置

<九頭竜川ダム統管理事務所>

平常時からの情報提供 ダム下流河川における浸水想定区域図の作成

・九頭竜ダム・真名川ダムの下流河川を対象として、想定最大規模降雨による浸水想定区域図の作成

発災時の住民への情報提供 放流警報設備の改良

・放流警報設備の改良

<福井県>

洪水予報、水位周知河川以外の河川の水害リスク図の作成

・水防法で定める河川以外の河川について、「水害リスク図」を作成

早期避難勧告等の発令判断や水防活動を支援するため、水位計・量水標・河川監視カメラ設置の検討と情報共有

・簡易型河川監視カメラの設置

「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の交付金も活用した、対象となる15河川の樹木伐採・堆積土砂除去、堤防強化、河川改修の促進

・交付金事業対象外の河川についても、県単独事業を活用して促進
・緊急対策の継続や対象を拡大するよう、国への要望

<その他市町>

資料8参照

・質疑応答

<敦賀市>

・避難を判断するのに、浸水深50cmから3mでは範囲が広い。行動に移しにくいので、詳細に分けて判断できるよう検討してもらいたい。

・高齢者・要配慮者の早期避難の判断基準を示してほしい。

・避難指示や避難勧告の解除のタイミングを示してほしい。

・開発行為における排水路等の計画雨水量見直しによる国・県の補助制度について検討してほしい。

・回答

<福井県>

① 浸水深による避難判断基準

浸水深50cm・・・歩いて避難できる限界

3m・・・1階がほぼ水につかるだろうという深さ

垂直避難がいいのか早く避難所等に逃げるのかの判断になる。

浸水深がどのくらいを切ると安全なのか、協議会で議論したり国に相談していく。

② 高齢者・要配慮者の早期避難の判断基準

气象台から説明があった警戒判定メッシュ等で判断してほしい。

③ 避難指示や避難勧告の解除のタイミング

水防業務基準と避難判断基準とがリンクしている部分もあることから、協議会の幹事会で情報提供・議論したい。

④ 開発行為における排水路等の計画雨水量の基準見直し、排水路断面増に対する国・県の補助制度について

協議会の幹事会で情報提供・議論し、協議会や市町からの要望といった形でご相談させていただきたい。

<福井河川国道事務所>

自主防災組織で様々な活動をされているとお聞きしたが、マイタイムラインを活用していただ

きたい。「マイタイムライン」研修会や出前講座の要望があれば言ってほしい。